



2025 年 11 月 11 日
東京製鐵株式会社

トヨタ自動車が生産する複数車種に当社鋼材が採用

東京製鐵株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：奈良暢明）はこのたび、トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、CEO：佐藤恒治）が生産する複数車種において、当社の熱延鋼板（酸洗）が採用されたことをお知らせいたします。今回採用された鋼材は、鉄スクラップ 100%を原料とし、電炉法により製造された当社の酸洗コイルです。製造時の CO2 排出量は約 400kg/トンと、従来の高炉法に比べ約 5 分の 1 に抑えられるほか、資源循環・アップサイクルの観点からも高く評価される製品です。

当社の自動車用鋼板は 590MPa 級までのラインナップを揃えています。

従来、自動車用鋼板には成分管理や品質安定性の点で電炉材の適用は難しいとされてきました。グローバルには、電炉材による自動車用鋼板への実用例はありますが、銑鉄由来の鉄源で鉄スクラップを希釈したものが大半を占めており（当社調べ）、鉄スクラップのみを原料としてアップサイクルした事例は極めて限られています。当社は、長年にわたる技術開発とともに 2012 年度から 3 年連続で参画した環境省の調査事業・実証事業等を経て、老廃スクラップを高級鋼材へと再生するアップサイクル技術を磨いてきました。

本件は、当社の「グリーン EV 鋼板事業推進室」が掲げる 2025 年度中の量産供給目標の一環として実現したものであり、電炉法によるグリーン鋼材の可能性を、サーキュラーエコノミーの実現とともに自動車用途で実証する重要なマイルストーンとなります。

今後も当社は、電炉鋼材の高付加価値化と適用領域の拡大を通じて、カーボンニュートラル社会の実現とサステナブルなモビリティの発展に貢献してまいります。



当社酸洗コイル

・お問い合わせ先：<https://www.tokyosteel.co.jp/contact/>